

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年10月23日 (2014.10.23)

【公開番号】特開2014-131705(P2014-131705A)
 【公開日】平成26年7月17日 (2014.7.17)
 【年通号数】公開・登録公報2014-038
 【出願番号】特願2013-255111(P2013-255111)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月9日 (2014.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者による発射操作に基づいて、遊技領域に向けて遊技球を発射する発射手段と、
 前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能な始動入球部と、
 当該始動入球部に遊技球が入球したことに基づいて、特別情報を取得する情報取得手段と、

当該情報取得手段の取得した特別情報を、複数の数として予め定められた規定数を上限として記憶する取得情報記憶手段と、

当該取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が、予め定められた移行情報に対応しているか否かの移行判定を行い、前記取得情報記憶手段に複数の特別情報が記憶されている場合にはそれら複数の特別情報に対して前記移行判定を順次行う移行判定手段と、

当該移行判定手段による移行判定の結果が、判定対象の特別情報が前記移行情報に対応している結果となったことに基づいて、遊技状態を予め定められた所定遊技状態に移行させる状態移行手段と、

を備えている遊技機において、

前記遊技領域には、前記始動入球部として少なくとも第 1 始動入球部と第 2 始動入球部とが設けられており、

前記第 2 始動入球部を、遊技球が入球しにくい又は入球が不可である非受入状態と、それよりも遊技球が入球し易い受入状態とに切り換え可能な受入制御手段を備え、

当該受入制御手段は、前記第 2 始動入球部の制御モードとして、第 1 モードと、当該第 1 モードよりも前記受入状態になり易い第 2 モードとを有しており、

前記取得情報記憶手段は、

前記第 1 始動入球部に遊技球が入球した場合に前記情報取得手段が取得した特別情報を、第 1 規定数を上限として記憶する第 1 取得情報記憶手段と、

前記第 2 始動入球部に遊技球が入球した場合に前記情報取得手段が取得した特別情報を、第 2 規定数を上限として記憶する第 2 取得情報記憶手段と、

を備えており、

前記移行判定手段は、前記第 1 取得情報記憶手段又は前記第 2 取得情報記憶手段に記憶されている特別情報のそれぞれに対して前記移行判定を行うものであり、

当該遊技機は、

前記第 1 取得情報記憶手段に記憶されている特別情報の数と対応する数の保留表示が行われるようにする手段と、

前記第 2 取得情報記憶手段に特別情報が記憶されている場合には、その記憶されている特別情報よりも早いタイミングで前記情報取得手段により取得された特別情報が前記第 1 取得情報記憶手段に記憶されていたとしても前記第 2 取得情報記憶手段に記憶されている特別情報に対して前記移行判定手段による前記移行判定が行われるようにする優先手段と

、
前記第 1 取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記移行判定の対象となった場合における判定結果に対応する情報を、当該所定の特別情報が前記移行判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先特定手段と、

前記所定の特別情報に対応した前記保留表示の態様が特別態様となるようにすることで、前記先特定手段により特定された情報に対応した特別報知が前記所定の特別情報が前記移行判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて実行されるようにする特別報知制御手段と、
を備え、

当該特別報知制御手段は、

前記第 2 モードである状況において、前記第 1 取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記特別報知の実行対象とならないようにする制限手段と、

前記第 1 取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記特別報知の実行対象とならないように制限されていない状況において、当該所定の特別情報についての前記特別報知が、当該所定の特別情報が前記移行判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて実行されるようにする実行手段と、

前記第 1 取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記特別報知の実行対象とならないように制限されていない状況において、前記実行手段による前記特別報知の実行を不可とする実行不可状態から、前記実行手段による前記特別報知の実行を可能とする実行可能状態に切り換える切換手段と、

前記先特定手段により特定された情報に対応した情報を記憶し、当該情報を前記実行不可状態においても記憶保持可能な情報記憶手段と、
を備え、

前記実行手段は、前記実行可能状態において前記情報記憶手段に記憶されている情報を用いることで前記保留表示を利用した前記特別報知が実行されるようにすることが可能であり、前記切換手段により前記実行不可状態から前記実行可能状態に切り換えられた場合、当該切り換えられたタイミングにおいて前記情報記憶手段に記憶されている情報を用いて前記保留表示を利用した前記特別報知が実行されるようにすることが可能であることを特徴とする遊技機。

【**手続補正 2**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0007

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【**0007**】

上記課題を解決すべく請求項 1 記載の発明は、遊技者による発射操作に基づいて、遊技領域に向けて遊技球を発射する発射手段と、

前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能な始動入球部と、

当該始動入球部に遊技球が入球したに基づいて、特別情報を取得する情報取得手段と、

当該情報取得手段の取得した特別情報を、複数の数として予め定められた規定数を上限として記憶する取得情報記憶手段と、

当該取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が、予め定められた移行情報に対応し

ているか否かの移行判定を行い、前記取得情報記憶手段に複数の特別情報が記憶されている場合にはそれら複数の特別情報に対して前記移行判定を順次行う移行判定手段と、

当該移行判定手段による移行判定の結果が、判定対象の特別情報が前記移行情報に対応している結果となったことに基づいて、遊技状態を予め定められた所定遊技状態に移行させる状態移行手段と、

を備えている遊技機において、

前記遊技領域には、前記始動入球部として少なくとも第1始動入球部と第2始動入球部とが設けられており、

前記第2始動入球部を、遊技球が入球しにくい又は入球が不可である非受入状態と、それよりも遊技球が入球し易い受入状態とに切り換え可能な受入制御手段を備え、

当該受入制御手段は、前記第2始動入球部の制御モードとして、第1モードと、当該第1モードよりも前記受入状態になり易い第2モードとを有しており、

前記取得情報記憶手段は、

前記第1始動入球部に遊技球が入球した場合に前記情報取得手段が取得した特別情報を、第1規定数を上限として記憶する第1取得情報記憶手段と、

前記第2始動入球部に遊技球が入球した場合に前記情報取得手段が取得した特別情報を、第2規定数を上限として記憶する第2取得情報記憶手段と、

を備えており、

前記移行判定手段は、前記第1取得情報記憶手段又は前記第2取得情報記憶手段に記憶されている特別情報のそれぞれに対して前記移行判定を行うものであり、

当該遊技機は、

前記第1取得情報記憶手段に記憶されている特別情報の数と対応する数の保留表示が行われるようにする手段と、

前記第2取得情報記憶手段に特別情報が記憶されている場合には、その記憶されている特別情報よりも早いタイミングで前記情報取得手段により取得された特別情報が前記第1取得情報記憶手段に記憶されていたとしても前記第2取得情報記憶手段に記憶されている特別情報に対して前記移行判定手段による前記移行判定が行われるようにする優先手段と

、
前記第1取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記移行判定の対象となった場合における判定結果に対応する情報を、当該所定の特別情報が前記移行判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先特定手段と、

前記所定の特別情報に対応した前記保留表示の態様が特別態様となるようにすることで、前記先特定手段により特定された情報に対応した特別報知が前記所定の特別情報が前記移行判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて実行されるようにする特別報知制御手段と、

を備え、

当該特別報知制御手段は、

前記第2モードである状況において、前記第1取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記特別報知の実行対象とならないようにする制限手段と、

前記第1取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記特別報知の実行対象とならないように制限されていない状況において、当該所定の特別情報についての前記特別報知が、当該所定の特別情報が前記移行判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて実行されるようにする実行手段と、

前記第1取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記特別報知の実行対象とならないように制限されていない状況において、前記実行手段による前記特別報知の実行を不可とする実行不可状態から、前記実行手段による前記特別報知の実行を可能とする実行可能状態に切り換える切換手段と、

前記先特定手段により特定された情報に対応した情報を記憶し、当該情報を前記実行不可状態においても記憶保持可能な情報記憶手段と、

を備え、

前記実行手段は、前記実行可能状態において前記情報記憶手段に記憶されている情報を用いることで前記保留表示を利用した前記特別報知が実行されるようにすることが可能であり、前記切換手段により前記実行不可状態から前記実行可能状態に切り換えられた場合、当該切り換えられたタイミングにおいて前記情報記憶手段に記憶されている情報を用いて前記保留表示を利用した前記特別報知が実行されるようにすることが可能であることを特徴とする。